

うれしい県大会、手中に バドミントン部 完全優勝



個人戦ダブルスで優勝した普代中の太田君と松頭君（中央）のプレー

第四十回久慈地区中総体が、六月十五、十六日の両日久慈管内の市町村を会場に行なわれ、村社会体育館を会場に行なわれたバドミントン大会では普代中学校（寺林拓也校長、生徒百二十一人）のバドミントン部（中居嵩部長、部員二十一人）は団体で平成十一年から連続四回目の優勝、個人戦シングルス、ダブルスとも一昨年、昨年に続いて優勝しました。

団体戦はリーグ戦で行なわれましたが、同中は久慈中を3-0で下し、圧倒的な強さで優勝。個人戦シングルスの決勝は普代中生同士の戦いとなりましたが、嘉藤朋彦君（三年）が芦渡翔君（同）を2-0で下し、優勝しました。

一方、ダブルス決勝は普代中太田芳律君（三年）・松頭潤君（同）ペアが同中の中居嵩君（三年）・太田俊英君（同）ペアを2-1で下し優勝。普代中の完全優勝でした。

中居部長は「県大会でも恥ずかしくない試合をし、一つでも多く勝ち進むよう頑張ります」と大会に向けて闘志を燃やしています。県大会は七月二十日から二十二日まで江刺市で行なわれます。

ソフトテニスも 県大会へ出場

ソフトテニスは久慈川近隣公園テニスコートを主会場に行なわれ、普代中ソフトテニス部男子（深渡優志部長、部員二十人）は団体が惜しくも予選リーグで敗退、決勝トーナメントに進むことができませんでした。

個人戦では前川翔君（三

年）・櫻庭春樹君（同）ペアが三位、石井佑樹君（三年）・深渡優志君（同）ペアが県大会出場決定戦を勝ち、それぞれ県大会出場権を獲得しました。

深渡部長は「全力を尽くして一生懸命頑張ってきました」と大会に向けた決意を語ってくれました。県大会はバドミントンと同日、北上市で行なわれます。それぞれの活躍を期待します。

【村】英語指導助手のステイブ・ジャングさん（三三）が、七月二十五日、三年間の任期を終えアメリカへ帰国します。平成十一年八月に村で五人目の英語指導助手として着任。小中学校などで英語を教えていました。

そのほかに村の行事に参加するなど積極的だったジャングさんの三年間の思い出と村民の皆さんへの熱いメッセージを紹介します。

フォンド・メモリーズ・オブ・普代く普代の甘い思い出

私はたくさんさんの普代の思い出を心の中に残してアメリカへ帰ります。

まず、一龍での初めての食事。教育委員会の人たちが私と一緒に日本語で話しました

普代村の甘い思い出を胸に アメリカへ 帰国します



村英語指導助手・ジャングさん

が、まったく分かりませんでしたが、アメリカで三年間日本語の勉強をしました。普代は勉強しませんでした。しかし、料理がおいしくて気にもなりません。ほかには普代に来てすぐの

第11回水泳大会

8月23日

18:00~21:00

BGで行われます。



朝、ラジオ体操の声を聞いて目がさめました。窓から外を見るとかわい子どもたちが体操していました。そのとき私は「ああ日本に来たんだなあ」と思いました。それで私も参加してました。

あとは、普代浜を忘れない。よく普代浜までジョギングに行きました。きれいな砂浜を見たこともその青い海から捕れた魚を食べたこともとてもいい思い出です。

でも一番の思い出は、教育委員会や普代の人たちのおかげで仕事を無事に終えることができたこと。三年間お世話になりました。ありがとう、普代村！

ステイブ・ジャング（本文はジャングさんが日本語で書いたものです）